

「読書する子はあたまがよくなる」は本当？

むかしから、こう言われてきましたが、大学で頭の科学をちょうさした結果

「一日10分以上読書をする子どもは、しない子に比べて、上位の成績を

とっている」ことがわかりました。これは、読書中にあたまの中の「ぜんとうぜんや」が活発になり、文章を理解する力に必要なしんけい回路が強くなるからです。

一日に2時間はつかれてしまうので、10分から1時間の読書をしてください。

「紙の本」vs「電子しょせき」

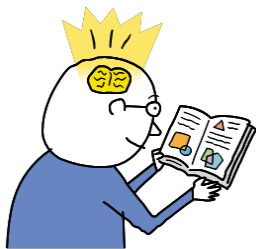
紙の辞書とパソコンの辞書で、ことばを調べる作業をすると、一分間で調べられた

ことばの数は、紙の辞書が3つ、パソコンの辞書が5つでした。ところが、その時のあたまの中の脳の働きを比べると、脳が活発に働いていたのは紙の辞書の方でした。

みなさんは、これからどんどんあたまもからだも成長していきます。

ぜひ、たくさん紙の本を読んで、あたまに良いしげきをあたえてください。

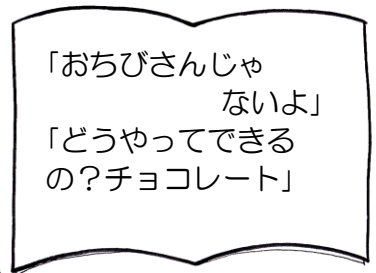
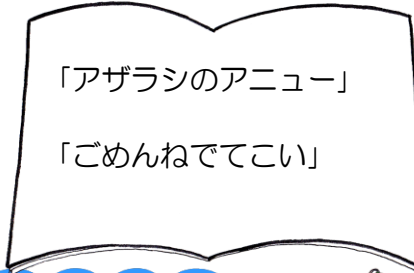
※電子しょせきとは・・・パソコンで読むことのできる本。



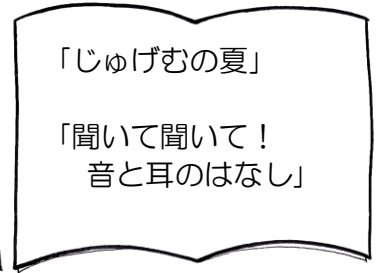
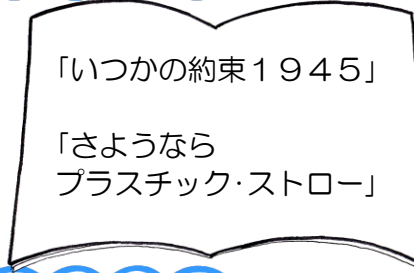
とうほくだいがくじゅんきょうじゅ こうぎ 東北大学准教授による講義

のうかがくてきけんち どくしょ こうよう さんしやう 「脳科学的見地からとらえる読書の効用」参照

1・2ねんせい



3・4年生



5・6年生

